

化学機能創生輪講及び演習

Graduate Seminar in Chemical Science and Technology

4単位 (必修)

化学機能創生コース教員

【授業目的】 学術論文の読解および発表・討論の技術を向上させる

【授業概要】 修士論文に関するテーマに関する論文を読み、所属する研究室において発表、討論することを通じて、プレゼンテーション能力を高めるとともに、各人の研究が工業界でどのように応用されているかを理解する。本科目は、工業に関する科目である。

【授業形式】 講義形式とポートフォリオ形式の併用

【キーワード】 討論, 文献, プレゼンテーション

【先行科目】 『卒業研究』 (1.0), 『雑誌講読』 (1.0)

【関連科目】 『化学機能創生特別実験』 (0.5)

【成績評価基準】 各指導教員が、発表、討論などを通じて総合的に評価する。輪講及び演習の課題を完了した者には60点を与える。指導教員が、自身の修士論文研究との関連性を把握している、プレゼンテーションがわかりやすい、英語の理解度、積極性など雑誌購読の達成度を評価シートに従って採点し、40点満点で評価する。以上算出した評点を合計して輪講及び演習の評点とし、60点以上をもって合格とする。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216587>

【対象学生】 開講コース学生のみ履修可能

【連絡先】

⇒ 河村 (化 410, 088-656-7401, kawamura@chem.tokushima-u.ac.jp) MAIL